

週刊文春

5月8日・15日ゴールデンウィーク特大号 特別定価420円





早川潤副院長

性器ヘルペス

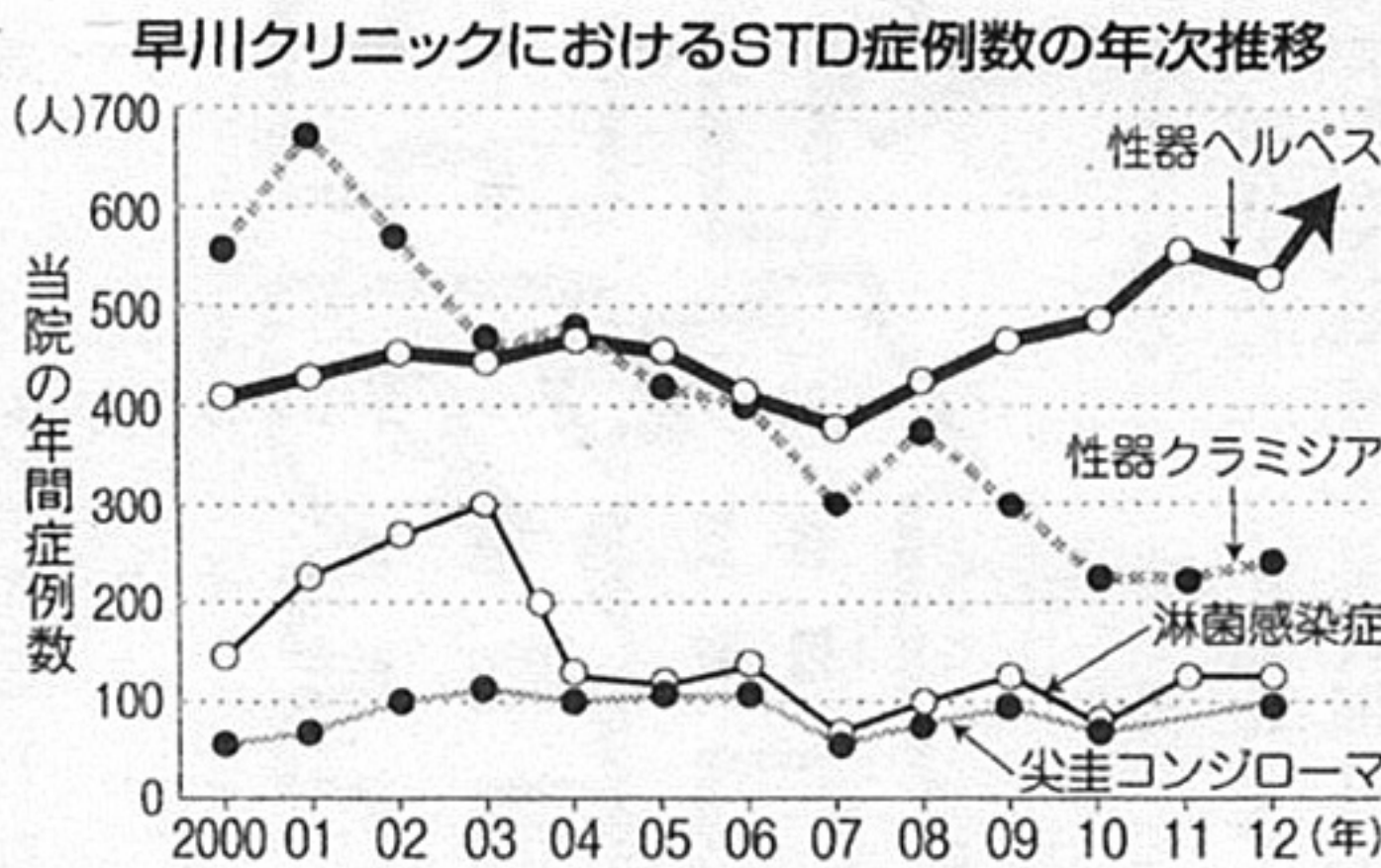
若い女性に多く再発しやすいのが特徴。
信頼できる医師を探し、病と賢くつきあおう。

取材・構成 恵原真知子

ヘルペスは疱疹（水ぶくれが集まった状態）という意味で、GHは人間に感染する八種類のヒトヘルペスウイルス（HHV）のうち単純HV2型の接触感染によって性器や臀部に水ぶくれや潰瘍ができる、ありふれた病気です。オーラルセックスの広がり、口唇ヘルペ

STD（性感染症）の一つ、性器ヘルペス（GH）をご存じだろうか。性器に水ぶくれや潰瘍ができる病気で、若い女性に多く、再発を繰り返すのが特徴だ。しかも、特效薬がなく、診断も難しいなど、患者を落ち込ませるような条件が揃っている。昨年末に簡便な迅速診断キットが発売された。臨床経験の乏しい医師でも診断しやすくなり、早期治療にも役立つだろう。STD診療に強く、性器ヘルペスの臨床研究機関としても活動している早川クリニックの二代目、早川潤副院長にきいた。

ヘルペスは疱疹（水ぶくれが集まった状態）という意味で、GHは人間に感染する八種類のヒトヘルペスウイルス（HHV）のうち単純HV2型の接触感染によって性器や臀部に水ぶくれや潰瘍ができる、ありふれた病気です。オーラルセックスの広がり、口唇ヘルペ



スを引き起こす単純HV1型も原因になっていきます。残る六種の仲間には水痘／帯状疱疹V、EB（エプスタイン・バー）V、サイトメガロV、HHV6・7・8型（突発性発疹、脳炎、カポジ肉腫などの原因に）だ。口唇ヘルペスには日本人の五〇〜七〇%、GHには

五〜一〇%以上が感染しているといわれる。先に口唇ヘルペスに感染していた人が新たにGHに感染した場合、明らかな症状が出ないこともある（ヘルペスウイルスは好みの神経節に棲みついて休眠し、宿主が弱ると暴れだす）が、GHの初感染の症

状は重くなる。男女とも二日〜十日の潜伏期間を経て性器や肛門などにヒリヒリと痛む小さな水疱ができ、発熱を伴うこともある。痛みのため排尿困難や歩行困難になったり、時に入院を要する患者も稀でない。

正確な診断から早期治療へ

GHの痛みは膀胱炎などと、皮膚症状はカンジダ症や接触性皮膚炎と似ているため、慣れない医師が早く正確な診断に辿りつくのは容易ではない。

診断キットは特別な装置などなしに十〜十五分ほどで1・2型の別も識別するので、STD診療が得意でない婦人科医や泌尿器科医の判断の助けになるだろう。

ヘルペスでもインフルエンザでもウイルスに対しては増殖を抑える抗ウイルス薬が用いられるが、GHにはアシクロビル、バラシクロビル、ビダラビンの内服や軟膏類が使われる。

GHのウイルスキャリアは自覚症状がないときでもウイルスが出ていて、パートナーとの性行為はもちろ

状は重くなる。男女とも二日〜十日の潜伏期間を経て性器や肛門などにヒリヒリと痛む小さな水疱ができ、発熱を伴うこともある。痛みのため排尿困難や歩行困難になったり、時に入院を要する患者も稀でない。

ん疱疹に触った手から皮膚や粘膜を介してもうつるといふ。米国の調査によると、GH感染の七割は感染源であるキャリア本人に、自覚症状のないときに起こっていたという。

「再発はウイルス量と免疫の兼ね合いで起こり、単純HV2型では初感染から一年以内に八〇%程度、同じく1型では二〇%程度が再発するとみられます。再発に関しては、八五%の患者さんがムズムズ・ヒリヒリ感、性器周辺の軽いかゆみ、腰痛や下肢のしびれ、全身のだるさなど何らかの予兆を感じると言います。

現状の医学では体内で休眠しているウイルスを絶滅させることはできないので、前触れのウイルスが多くならないうちに抗ウイルス薬を使うのが改善の策です」

GHの治療は、この臨床が得意で再発抑制療法の経験が豊富な施設へ。治療の時期や薬量、服用期間などは医師のさじ加減が要り、カップルの検査や診療にも応じる可能性が高い。疑いがあるならまず受診を！

ん疱疹に触った手から皮膚や粘膜を介してもうつるといふ。米国の調査によると、GH感染の七割は感染源であるキャリア本人に、自覚症状のないときに起こっていたという。

「再発はウイルス量と免疫の兼ね合いで起こり、単純HV2型では初感染から一年以内に八〇%程度、同じく1型では二〇%程度が再発するとみられます。再発に関しては、八五%の患者さんがムズムズ・ヒリヒリ感、性器周辺の軽いかゆみ、腰痛や下肢のしびれ、全身のだるさなど何らかの予兆を感じると言います。

現状の医学では体内で休眠しているウイルスを絶滅させることはできないので、前触れのウイルスが多くならないうちに抗ウイルス薬を使うのが改善の策です」

GHの治療は、この臨床が得意で再発抑制療法の経験が豊富な施設へ。治療の時期や薬量、服用期間などは医師のさじ加減が要り、カップルの検査や診療にも応じる可能性が高い。疑いがあるならまず受診を！

ん疱疹に触った手から皮膚や粘膜を介してもうつるといふ。米国の調査によると、GH感染の七割は感染源であるキャリア本人に、自覚症状のないときに起こっていたという。